



自由民主党 中野敏浩 5



自由民主党 中原秀文 7



無所属 小林 薫 9



問非市街地内の小中学校周辺道路も速度規制の低減が必要と考えるが、ゾーン30等を含めた速度抑制対策について市の考えを伺う。

答車両速度の低減化を検討する必要があると考える。ゾーン30規制などの速度規制は道路環境や歩行者交通量など、実施には一定の条件があることから、学校や地元自治会から速度抑制要望等が出された場合には、警察等と十分協議した上で検討を行っていく。

問持続可能な農業を推進していくために、本市農業のさらなる活性化に向けた川越産農産物のブランド化事業の今後の展開について市の考えを伺う。

答直売イベントの実施や、川越産農産物のPRポスターの掲示など、広く情報発信するとともに、おいしい川越農産物提供店の拡大を図り、農業の活性化につなげていきたいと考えている。



自由民主党 須賀昭夫 6



無所属 真美子 8



公明党 嶋田弘二 10



問道路や水道などのインフラ施設に公共施設を含めた更新・維持管理等の経費が年約75億円不足する厳しい状況に鑑み、今後の市の対応を問う。

答および更新に充てるための川越市公共施設マネジメント基金を設置し、財源の確保に努めている。公共施設はもとよりインフラ施設については、特に市民の安全、安心な生活に関わる重要なものであることから、施設の劣化状況などを十分踏まえた計画的な対応が必要と考える。

問総合政策部副部長 今後の少子高齢化や人口減少社会の到来を考えると、整備更新の財源もさらに限られてくることを考えられることから、平成28年12月に、計画的な保全

問インフラ施設

問本川越駅西口開設の費用を市が負担したにもかかわらず往来に不自由している。手押し自転車の通行ができるよう西武鉄道に要望できないか。

さないとしている以上は、手押し自転車の通行を実現するのは難しいと思われる。

答市長 本川越駅の東西を結ぶ通路部分は、道路ではなく西武鉄道の敷地である。このため、他の駅の自由通路とは異なり、西武鉄道が駅利用者の安全の観点から自転車を通

問公共施設等管理計画 駅周辺整備



問川越産農産物のブランド化事業の今後の展開について市の考えを伺う。

答川越産農産物のPRポスターの掲示など、広く情報発信するとともに、おいしい川越農産物提供店の拡大を図り、農業の活性化につなげていきたいと考えている。

問川越産農産物のブランド化

問寝屋川市の配食サービスは1日200個を想定しているが、本市は実施で約14個にとどまる。充足した自宅療養者支援について市の見解は。

答栗原副市長 自宅療養者に療養中の過ごし方や、体調が悪くなった場合の連絡先、配食サービスの案内などをまとめたパンフレットを送付してきた。配食サービスは日々の

問新型コロナウイルス感染症対応 重層的支援体制事業



川越産農産物のロゴマーク



認知症施策

問認知症の人が第三者に損害を与えた場合の損害賠償責任保険の導入について、市の考えを伺う。

害賠償責任保険の導入についても、先進自治体の事例等を参考に調査・研究していく。

答福祉部長 本市では、川越市お帰り安心ステッカーの交付などの早期発見、事故の未然防止の取り組みを行っているが、認知症施策を総合的に推進していく必要があるため、認知症の人が第三者に損害を与えた場合の損

問認知症施策